

令和4年度 第2回 江東区みどりの基本計画推進会議への意見書への考え方

◆議題1 江東区みどりの基本計画推進会議部会 部会員の指名

主なご意見	考え方
<p>推進会議委員をはじめ、行政、環境・緑化関連 NPO、造園・建設系企業、区民など、推進会議同様にさまざまな立場の方、また、それぞれが所属する組織等にも広げることが可能な部会員で構成されていると思う。</p>	<p>部会は区内において様々な分野で活動をされている部会員から構成されており、各活動団体が行うそれぞれのイベントに「相乗り」する取組みを促進しております。「相乗り」により深めた相互理解や強化したネットワークを各活動に還元し、本区の緑化推進のための活動を活発化できるように取組んでまいります。</p>

◆議題2 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

主なご意見	考え方
<p>部会の方々の活動内容のボリュームの多さに驚かされた。</p>	<p>部会活動では、みどりの基本計画推進会議で挙げられた7つの課題を解決することを目的として、日々、精力的に活動しております。</p>
<p>各分野のプロフェッショナルが集まり、江東区のみどりについて考え話す場があることに、区民としてもとてもありがたいと感じた。実際に町を歩きながらの意見交換など活動内容も意義あるものだと感じた。部会資料を拝見したところ、区民の思いや課題が何かを知ることにも言及されているが、個人所有の土地を持っていない人がほとんどの都会の暮らしにおいて、自分の意識や行動で区のみどりに貢献できると思ってもみないことなので（かつての私がそうでした）、どうせ都会はと諦めの気持ちを持っている人にとって、こういった部会の活動を知ることや参加できることは希望になると思う。区民参加型の活動の窓口にもなれるのではと思う。</p>	<p>部会では、子育てや福祉などの地域課題をみどりの分野から解決するための方策についても検討していく予定です。部会の活動状況を発信し、さらに多くの区民の方々などにご参加いただけるような仕組みなどについても検討してまいります。</p>

主なご意見	考え方
<p>推進会議が提示した7つの課題に対応することが、部会の存在意義だと考えているが、7つの課題の「解決」は、早々にできるものではない中で、「解決」への「方向性」を示したみどりの基本計画を具現化するための取り組みについての多様な意見が活動の中ででてきていると思う。</p> <p>表にまとめられた成果としては、①④⑦に具体的な成果として記載されているのみだが、</p> <p>①について、活動グループ間の人と情報の共有が始まっている</p> <p>②みどりの活動の拡充と地域問題の解決への意見交換が行われている。</p> <p>③情報発信について、「進めよう」という話が出ている。</p> <p>④具体的にマップづくりを行っている。</p> <p>⑤「親しむ会」だけでなく、その活動の周知、協力、展開が可能な意見も出てきている。</p> <p>⑥これについては、直接的な意見の記憶はないが、オンライン会議などで、すでに実装していると考えられる。</p> <p>⑦フェアが開催され、部会メンバーをはじめ、これまでになかった連携による開催となっている。</p> <p>以上のように、「解決」には至っていないが、「方向性」から「具体化」あるいは「具体化へ意見交換」は進んでいると考えられ、部会の活動テーマとした「みどりに関心を持ち、その仲間を増やし、活動する」において、部会メンバーの意見交換、マップやフェアなどの実践は行われているので、部会メンバー以外への拡大「仲間を増やす」ということが、④情報発信と合わせ、今後の大きな課題となっていると思う。</p>	<p>部会メンバー以外の仲間を増やすことについての課題認識は区も共通です。子育てや福祉などの部門との連携を模索するとともに、情報発信を充実させ、区民の方々などが参加できる仕組みなどについて検討してまいります。</p>

◆議題3 第1回推進会議で提起された検討事項について

主なご意見	考え方
<p>江東区が主導で他5区が参加している調査研究がある事も初めて知った。</p> <p>会議でも上がっていたが SNS の利用でもっと区民の方にアナウンスするべきだと思ったが、SNS は登録していないからと諦めてしまうこともあると思うので区の HP に飛べるよう QR コードを利用し区報に乗せる方法はいかがか。</p>	<p>区の事業や CIG 活動の周知方法については、SNS やホームページを活用するとともに紙媒体で広報を行う場合にも QR コードを掲載し、幅広く区民へ周知してまいります。</p>
<p>資料の中の伐採された樹木の写真に愕然とした。なぜ台帳が必要なのか理解できた。樹木の管理は維持費も掛かるのでクラウドファンディングで資金を集めるのも1つの方法にならないか。</p>	<p>財源の確保につきましては、クラウドファンディングや国、都の補助金の利用なども含めて、研究を深めてまいります。また、区民や事業者と共に地域の緑化を進めていくことも重要と考えております。</p> <p>令和5年度に実施する地域特性緑化事業では、公園の整備費に対してクラウドファンディングを導入いたしますので状況を注視してまいります。</p>

主なご意見	考え方
<p>実際に他県に足を運び、話を聞きに行ったとのことで、今後の江東区みどりの管理について具体的にイメージが湧いた。個人的にも「みどり」をイメージする町といえば、仙台市を思い浮かべることが多く、大通りの両脇に大きな木の並木があるのがとても気持ち良い印象があったので、江東区役所の前の道路などもそんな道になってくれたら嬉しいなと思いつつ、維持管理は大変だと思うので、このようなマネジメント方針があると区のみどりを増やすことへの安心感にも繋がると思う。</p>	<p>今後、維持管理マニュアルにとどまらず、樹木が有する機能や役割を最大限に発揮させるためのマネジメント方針や計画について研究を深めてまいります。</p>

◆議題4 緑化指導のあり方に関する検討について

主なご意見	考え方
<p>屋上緑化について、最近はずつマイモで省エネにする芋緑化が都心のビルで行われているという記事を見た。 参考までに https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/kankyo/news/09/</p>	<p>情報提供ありがとうございます。 屋上緑化の手法については、様々な課題がありますので、いただいたご意見を含め、先進的な取り組みに関する情報収集を行い、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>既存樹木の保全、緑地の維持管理、樹木の更新については、いずれもケースバイケースだと思う。樹木をはじめ植物の状態、周辺環境（鳥など生きものの状況から公有地・民有地の別など）で、対応は一つ一つ異なると思う。こうした個別の対応が必要となるため、対応が難しいと思う。 最近、長野市の公園閉鎖が注目を浴びたが、市民と行政間のやりとりで閉鎖されていたために、苦情をいった市民、行政のみが批判されるなどの状況になっているが、町内会・自治会の了承、事前の公開審議が広く知らしめられていれば、たとえ、その時点での判断がどうあれ、これほどまでの批判の対象にはならなかったと思う。 既存樹木の保全、緑地の維持管理、樹木の更新に限らないが、これらが必要となった場合の手続きについて「公共施設の樹木の効果的なマネジメント手法」にも示されている通り、市民の「みどり」への理解が得られており、専門家などの、科学的・経験的根拠のある事由による解決方法と、町内会・自治会及び開かれた審議による決定に基づく対処が行われれば、最善の対応が可能と思う。</p>	<p>樹木の維持管理や保全、更新については、画一的な対応が難しいと考えております。その中で、対応する職員や所管課によって大きな対応の違いが生じないように、区として樹木をどのようにマネジメントするのかといった方向性については研究を深めるとともに、区民と共有する必要があると考えております。</p>

主なご意見	考え方
<p>地方と違い、自分が所有している土地でないことがほとんどなため、そこまで思い入れなく木の伐採をしてしまう人が多いと思う。“江東区はみどりを大切にしています”というメッセージを区民にしっかり認識してもらい、みんなで CIG 推進を行い、協力していけるよう、まずはそのことを認知してもらう必要があると思う。木の剪定、伐採についても、規約があった方が、動きやすいのではと思った。人とのトラブルを避けたいことの方が優先順位として高くなっている昨今、規制がある方が、「区の決まりなので」という理由でみどりを残せるのではと思う。（本来はもっとコミュニケーションをとりながら、みどりの大切さを話せるくらいのご近所付き合いが理想ではあるが。）</p>	<p>みどりの基本計画の基本方針 4 では、「みんなでみどりを守り育て伝えること」を目指しており、ボランティア活動の支援や人材育成のための講座の開催、CIG 活動の普及啓発などを行っております。今後、さらに広くみどりの大切さを届けるためのより効果的な方法を検討してまいります。また、樹木の伐採につきましては、伐採時の届出や保護樹木制度などの活用を視野に、既存樹木の保全に努めてまいります。</p>

◆自由記載（補足など）

主なご意見	考え方
<p>今回が初回の参加になったが、日頃の生活では多少気になっていてもそのまま流れてしまうような事が色々な角度から議題になっていると感じた。 そしてそれぞれが別々のようで最終的には繋がっていることに気づいた。</p>	<p>推進会議では、様々な立場の方々からご意見を頂ける機会となっており、引き続き忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
<p>みどりの基本計画推進会議では、個人所有の名木の保全なども話題に上っていましたが、「江東区内にある緑」という観点で、企業が保有する緑についても連携を検討されてはいかがか。木場にあるフジクラさんの「千年の森」などが注目に値すると思う。</p> <p>推進会議からは離れるかもしれないが、貴課で取り組まれている「コミュニティガーデンの普及・促進」についてご相談がある。弊社では、企業市民活動の一環で、東京都港湾局から借用している新木場駅前の緑地を活用し、地域の交流や景観美化を目的としたハーブガーデンを運用管理している。活動にあたっては、社員だけでなく、地域住民の皆さまのお力添えもいただいている。企業のため助成金等は不要だが、「江東区内にあるコミュニティガーデン」として、企業枠または特別枠でコミュニティガーデンの仲間入りをさせてもらい、コミュニティガーデンマップなどで紹介いただけないか。</p>	<p>みどりの基本計画の基本方針 4 の中では事業者によるみどりの活動支援に取り組んでおります。いただいたご意見を参考にしつつ、区内でみどりに関する社会貢献活動を実施している事業者との連携を検討してまいります。</p> <p>事業者による地域での緑化活動の取り組みは、民有地における緑化推進やみどりを使ったコミュニティづくりの活動として大切であると考えております。今後、区の事業であるコミュニティガーデン活動との周知などの連携方法について検討してまいります。</p>